

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

49号

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702
URL : http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の
割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN
RX 工法



熱血営業マン！
ダイニチくんの奮戦記

「スカイコートWって
実際どうなの？」
「御社向けに
講習会を開催
しますよ！」

当日は、
わかりやすい説明と
質疑応答も丁寧
におこないます

「二オイや使用感を
体感して頂けます！」

施工体験も
行います

「ありがとうございます！」
「スカイコートW
採用しました！」

良さが
伝わったので
採用します！」

こんなところで活躍しています

工場金属屋根（VUS500）



11月より冬用ビッグサンの販売が始まります！

暑かった夏が終わり秋になったと思ったら、もうすぐ冬の季節がやってきます。

気温が低くなってくると、水系材料のビッグサンは乾燥硬化がなかなか進まないから現場で使いにくい等という意見もちらほら聞こえてきた時期になってきました。

今年も冬用ビッグサンの販売が始まります！早いもので販売開始から5年目となり、実際に使っている方も多いため、ビッグサンを御存知ない施工業者様、知っていないけど実際にまだ施工した事がない施工業者様がおられると思います。重要なことですので、改めて紹介させていただきます。

冬用ビッグサンは、簡単温が低い環境で硬化が遅

大日化成ホームページでも通年用ビッグサンと冬用ビッグサンの硬化速度の比較動画を掲載しておりますのでご確認ください。弊社WEBサイトにトップページを下の方向に

「免震建物」とは、地面と建物の間に免震装置を入れて、宙に浮いた建物のように地震の揺れが直接建物に伝わりにくく構造になっている建物のことをいいます。

免震装置上の水槽床スラブには水圧にてかなりの荷重がかかる中、免震装置上にて宙に浮いているわけで、直接の地震の揺れは軽減されると言いながらも水槽自体の動きはかなりあると思われま

過去に免震装置上の水槽からの漏水事故があり、補強入りの仕様に補修した際にビタリと漏水が止まり現在も問題なく経過している経験から、免震装置上の水槽には補強布入りの仕様が有効と判断し、弊社ではこの度「ビッグサンGR-V工法」を登場させたのです。

補強布を入れることにより防水塗膜の強度は、はるかに上がりますので、免震装置上の水槽

くという動画で見る大日製品というバナーがございますので、そこをクリックして一覧からご覧下さい。

その他の特長としては、材料の荷姿が液材・16kg、粉材・16kgとなっており混合量でも水希釈無しで1.1mm少量でも材料混合時にも細かい計算がいらず非常に分かり易くなっております。

ただし、通年用ビッグサンのように水の希釈量を多くしてプライマー代わりを使用する事は出来なくなっておりますので冬用ビッグサンをご使用になる場合は、「ビッグサンプライマー#100」をご使用頂くようお願い致します。

その他にも、樹脂を特殊アクリル樹脂に変更する事により、耐候性、引張り伸び物性も向上しております。施工性に関しても水希釈無しでも通年用ビッグサンと同じように施工が出来、工法のラインナップも屋外屋内用のほぼ全



ての工法に対応できます。

毎年使用して頂いている施工業者様はすでに硬化の速さには体感して頂いていると思います。この記事を見て使っている方、かと思われている施工業者様があられたら是非、自分の目で硬化の速さを体感して頂きたいと思っておりますので、今年の冬は是非現場で冬用ビッグサンの使用を宜しくお願い致します。

「ビッグサン」と一言にいつても工法の種類は用途に応じて沢山ございます。素材は全てポリマーセメント系塗膜防水材ですが、常にそれ最良の仕様を考え工法設計しておりますので、続々と新工法が誕生しております。

そして今回もまた、水槽・地下防水用途にて新たな工法としてラインナップしました「ビッグサンGR-V工法」についてご紹介させていただきます。

現在ラインアップされている水槽類・地下防水用途のメイン工法は「ビッグサンGR工法」になります。日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案・同解説）」において地下用途Bタイプの防水材であり「PB-1仕様」に相当する工法として、消火水槽・雨水貯留槽等の水槽内面や地下外壁（保護層別途必要）等で使用されております。

前記指針（案）にてBタイプは、「比較的小さい動きの少ない地下・水槽部位」を想定しているため、「比較的小さい動きの大きい地上部位」を想定したAタイプと違い、仕様として特に補強布を積層させず、防水材を塗布するのみ仕様「PB-1仕様」となっております。もちろん「ビッグサンGR工法」もPB-1仕様に準じて設計された工法になります。

そして今回、「ビッグサンGR工法」にあえて補強布を積層させた仕様「ビッグサンGR-V工法」を登場させました。まだポリマーセメント系塗膜防水材を扱う製造メーカーにはどこにも無い仕様ですが、あえて弊社で登

場させたことには理由があります。実績として多くの地下水槽内面に「ビッグサンGR工法」を採用、「B」使用したいでありますが、近年、免震構造の建物に於て、免震装置上に設置された水槽内面の防水案件が多く、結論として弊社は、通常仕様より補強布を積層させた仕様の方がはるかに対応可能と判断したのでした。

「免震建物」とは、地面と建物の間に免震装置を入れて、宙に浮いた建物のように地震の揺れが直接建物に伝わりにくく構造になっている建物のことをいいます。

免震装置上の水水槽床スラブには水圧にてかなりの荷重がかかる中、免震装置上にて宙に浮いているわけで、直接の地震の揺れは軽減されると言いながらも水槽自体の動きはかなりあると思われま

過去に免震装置上の水槽からの漏水事故があり、補強入りの仕様に補修した際にビタリと漏水が止まり現在も問題なく経過している経験から、免震装置上の水槽には補強布入りの仕様が有効と判断し、弊社ではこの度「ビッグサンGR-V工法」を登場させたのです。

補強布を入れることにより防水塗膜の強度は、はるかに上がりますので、免震装置上の水槽

■防水層クロス補強仕様

日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）PB-1仕様

GR-V工法

生防水層平均厚み 1.1mm

用途 水槽 免震装置上層

※ 免震装置上の水水槽、基本的には床面と上層100mm程度をGR-V工法とし、壁面全体はGR工法にて施工となります。
※ 上記用途以外にも、部分的に補強を要する場合にも有効です。

工 程	
	下地処理（別途）
①	プライマー（0.1kg/m ² ） ビッグサンPTC 磨き
②	下塗り（1.1kg/m ² ） 配合比：SC-300：2kg・R-300：18kg・水：0～150g
③	ビッグサンクロスV
④	上塗り（1.1kg/m ² ） 配合比：SC-300：2kg・R-300：18kg・水：0～150g

外にも、ひび割れ補修箇所や目地・入隅部分等動きの大きいと予想される箇所には補強仕様として使用できると思います。ぜひ今後、補強布入りの水槽・地下仕様「ビッグサンGR-V工法」をよりよくお願い申し上げます。

スカイコートW
＜タイル張り面の透明外壁防水材＞

透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。

透明な塗膜
タイル仕上げの
意匠性は
そのまま！！

スカイレジン＜下地調整材＞
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC-T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIGSUN ラピタルエース
＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

速硬
軽量
厚塗り可能
取扱簡単！！